



登山ユース応援プロジェクト
Tozan Youth Support Project
第一期 パートナー企業募集のご案内

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

2026年3月27日

株式会社山と溪谷社 法人営業部／登山ユース応援プロジェクト

協賛や活動に関するお問い合わせ先：

登山ユースプロジェクト事務局 yamakei-youth@yamakei.co.jp

または法人営業部の担当者に直接お問い合わせください



登山ユース応援プロジェクト - Tozan Youth Support Project -

「自然のすばらしさを、100年後へつなげてゆく」

これは、創立95周年を迎えた山と溪谷社が掲げたビジョンです。

「登山ユース応援プロジェクト」では、このビジョンのもと、山と溪谷社が主体となり、媒体を通じた知識の共有や技術を学ぶ講習会、交流の場づくり、そして用具の提供などをすべての次世代に向けて、長期的に行なっています。

登る人も、支える人も。

山の未来を、ともに描くプロジェクトです。

第一期
2025-27年

すでに部活動を通して登山を経験し、登山に関わっている 学生を対象に、登山入門者、または先鋭的な登山をする若者の支援・サポートを行なう
▶▶媒体を通して異なる世代を繋げるだけでなく、学校同士の交流、企業との交流の活性化にも繋げる

第二期
2027-29年

登山未経験の子どもを中心に、山や自然に親しんでもらうための経験の場を提供
▶▶対象を「すでに登山を始めている意思決定ができる若者」から「まだ山や自然の魅力を知らない子ども」に広げ、リーチしていく

第三期
2029-30年

一期～二期の活動を継続・発展させ、「自然のすばらしさを100年後につなげてゆく」

名称 登山ユース応援プロジェクト (Tozan Youth Support Project)

目的 未来を担う若い世代の活動支援を通じて、登山文化の継承と、さらなる発展を目指す

対象 未来を担う若い世代 (未就学児～学生、若年層の成人など)

期間 2025年10月～2030年12月 *状況に応じてそれ以降も継続

第1期となる2025年10月～27年3月末は、大学・高校の山岳部やワンダーフォーゲル部に所属する方々を対象に『山と溪谷』の送付、誌面・ウェブサイト上での企画の連携、リユースなどの物資支援、講習会・交流会などを実施しています。

*支援は、希望するすべての学生を対象とし、資金提供以外での支援を行ないます

活動の記録・予定

25年9月： プロジェクト制定、大学への案内開始

25年10月： プレスリリース配信、支援対象校に対し登山専門誌『山と溪谷』の提供を開始

25年12月： 第一回学生交流会を実施

26年2月： アウトドアイベント「HIKER'S FLEA MARKET」の自社ブースにて、リユースボックスを設置

26年3月： 『山と溪谷』2026年4月号にて大学山岳部をレポートする連載「ようこそ部室へ」がスタート

26年4月： 『山と溪谷オンライン』にて特設ページにコンテンツを順次展開

26年5月： 第一期パートナー企業様決定。広報活動などを本格指導

支援対象大学・団体（2026年3月時点／67団体、約2600名） * 順次追加予定

青山学院大学
体育会ハイキング部

茨城大学
ワンダーフォーゲル部

愛媛大学
ワンダーフォーゲル部
山岳部

大阪産業大学
体育会山岳部

岡山大学
ワンダーフォーゲル部

鹿児島大学
ワンダーフォーゲル同好会

金沢大学
医学部山岳部
ワンダーフォーゲル部

関西大学
文化会探検部

関西学院大学
体育会ワンダーフォーゲル部

関東学院大学
ワンダーフォーゲル部

京都府立大学
ワンダーフォーゲル部

熊本大学
文化部探検部

慶應義塾大学
探検部

神戸大学
山岳部

神戸女子大学
ワンダーフォーゲル部

国際医療福祉大学
山岳サークル

静岡大学
ワンダーフォーゲル部

芝浦工業大学
山岳部

島根県立大学
登山系サークルLINK

信州大学
ワンダーフォーゲル部

信州大学
山歩会

摂南大学
体育会ワンダーフォーゲル部

専修大学
体育会山岳部

創価大学
歩こう会

中央大学
ワンダーフォーゲル部

東海大学
熊本校舎ワンダーフォーゲル部

東海大学
静岡キャンパス山岳部

東京大学
運動会スキー山岳部
運動会ワンダーフォーゲル部

東京都立大学
ワンダーフォーゲル部

東京理科大学
ハイキング同好会

同志社大学
山岳同好会

同志社大学
体育会ワンダーフォーゲル部
体育会山岳部

東北大学
医学部ワンデルング会

東北学院大学
体育会ワンダーフォーゲル部

東洋大学
探検部

獨協大学
ワンダーフォーゲル部

名古屋市立大学
蝶ヶ岳ボランティア診療班

南山大学
鈴峰山歩会

弘前大学
全学山岳部

広島大学
東千田探検部

広島大学
体育会ワンダーフォーゲル部

福島大学
体育会スキー部

防衛医科大学
校山岳同好会

法政大学
体育会ワンダーフォーゲル部

北海学園大学
山岳部

北海道大学
医学部山岳部フラテ山の会

松本大学
山岳部

三重大学
ワンダーフォーゲル部

武蔵野美術大学
ワンダーフォーゲル部

室蘭工業大学
ワンダーフォーゲル部

明治大学
生田ハイキング部
体育会山岳部
体育会ワンダーフォーゲル部

明治学院大学
ワンダーフォーゲル部

山形大学
ワンダーフォーゲル部（農学部）

山口大学
洞穴研究会

横浜国立大学
ワンダーフォーゲル部
山岳部

立教大学
体育会山岳部

早稲田大学
山岳アルコウ会
岳文会
登歩の会
山岳部

26-27年 今後予定しているイベントについて * 予定。日程などは変更になる可能性があります

5月下旬： ビギナー向け講習会

新入生をはじめとした学生に向けた登山技術の講座。後半は学生同士の交流会を実施

会場：山と溪谷社 23階セミナールーム／ラウンジ

▶講座は同時にオンラインでも配信いたします

6月下旬： 夏山直前講習会（オンライン開催のみ）

本格的な夏山シーズン。遠征前に役立つ登山技術の講座を予定しています

▶オンライン開催のみを予定

10月： 登山業界の仕事を知ろう（パートナー企業様コラボイベント）

各登山業界の方々に、山の仕事について説明していただき、就職活動に役立てていただきます。

後半は懇親会を実施し、企業と学生のコミュニケーションの場を設けます

会場：山と溪谷社 23階セミナールーム／ラウンジ

▶講座は同時にオンラインでも配信いたします

12月： 実用的な講習会&リユース譲渡会

冬の間トレーニング、もしくは冬山に向けた登山技術の講座を実施いたします

会場：山と溪谷社 23階セミナールーム／ラウンジ

▶講座は同時にオンラインでも配信いたします

パートナー企業 協賛のお願い<基本協賛>

当プロジェクトは、社会的な活動として山と溪谷社が運営していきませんが、山岳・登山文化の継承と発展において、さまざまな企業と連携し、より充実した活動にしていきたいと考えております。ともに支えてくださる企業様を広く募集しております。

基本協賛（第一期 26年5月～27年3月）： 150,000円（税別）

協賛費の用途：

- ・学生への取材や誌面、サイトでの告知に関する広報活動の充実化
- ・学生向けの講習会や交流会などの運営・事務
- ・ノベルティ制作ほか

ベース協賛 付帯内容

- ・「山と溪谷」誌面でのプロジェクト連合広告でのロゴ掲載（26年6月発売号、26年10月発売号、27年3月発売号の計3回を予定）
- ・「山と溪谷オンライン」内の特設ページで企業のロゴ、会社情報、学生への応援メッセージを記事にして掲載（26年5月から27年3月まで）*1/5pスペース程度
- ・「登山業界の仕事を知ろう」（パートナー企業様コラボイベント）でご登壇、交流会ご参加
- ・2026年6月と10月（予定）、全ての支援対象団体にDMを紙送付（A4サイズ1枚・両面可）

*当プロジェクトで展開する一部を除くコンテンツについては、企業オウンドメディアなどでの二次掲載が可能です。ぜひ当プロジェクトの活動をご紹介ください

*交流を深め、山岳文化の発展に寄与する目的として、学生に向けたアルバイトやボランティアの募集、サンプリング、モニター+メディア展開などのご相談も可能です

*活動終了の3月末に、活動報告のレポートを共有させていただきます

*協賛付帯内容以外のご支援（コラボイベントや物資支援）なども募集しています。随時ご相談承ります

*山と溪谷オンライン』特設ページはサイトトップの「スペシャル枠」、sns、メルマガなどから誘導を図ります

特設ページイメージ



連合広告イメージ



<https://www.yamakei-online.com/yk/tozanyouth/>



第一期
お申込締切
4月22日(金)

パートナー企業 協賛のお願い <特別協賛>

当プロジェクトは、社会的な活動として山と溪谷社が運営していきますが、山岳・登山文化の継承と発展において、さまざまな企業と連携し、より充実した活動にしていきたいと考えております。ともに支えてくださる企業様を広く募集しております。

特別協賛（第一期 26年5月～27年3月）： 500,000円（税別）

協賛費の用途：

- ・学生への取材や誌面、サイトでの告知に関する広報活動の充実化
- ・講習会や交流会などの運営・事務
- ・ノベルティ制作ほか

特別協賛 付帯内容 ●が特別協賛限定の内容（基本協賛との重複申込は不要です）

- 「山と溪谷」誌面でのプロジェクト連合広告でのロゴ掲載（大）
（26年6月発売号、26年10月発売号、27年3月発売号の計3回を予定）
- 上記掲載月にて「山と溪谷」誌面で企業インタビューなどを掲載（1回／1P、WEB転載あり）
- 5、6、12月いずれかのイベントでの特別協賛（1回／山と溪谷社23階セミナールーム）
 - ・「山と溪谷オンライン」内の特設ページで企業のロゴ、会社情報、学生への応援メッセージの記事にして掲載（26年5月から27年3月まで）
 - ・「登山業界の仕事を知ろう」（パートナー企業様コラボイベント）でご登壇・交流会ご参加
 - ・2026年6月と10月(予定)、全ての支援対象団体にDMを紙送付（A4サイズ1枚・両面可）

- ・当プロジェクトで展開する一部を除くコンテンツについては、企業オウンドメディアなどでの二次掲載が可能です。ぜひ当プロジェクトの活動をご紹介ください
- ・交流を深め、山岳文化の発展に寄与する目的として、学生に向けたアルバイトやボランティアの募集、サンプリング、モニター＋メディア展開などのご相談も可能です
- ・活動終了の3月末に、活動報告のレポートを共有させていただきます
- ・協賛付帯内容以外のご支援（コラボイベントや物資支援）なども募集しています。随時ご相談承ります
- ・『山と溪谷オンライン』特設ページはサイトトップの「スペシャル枠」、sns、メルマガなどから誘導を図ります

特設ページイメージ



連合広告イメージ



<https://www.yamakei-online.com/yk/tozanyouth/>



第一期
お申込締切
4月22日(金)

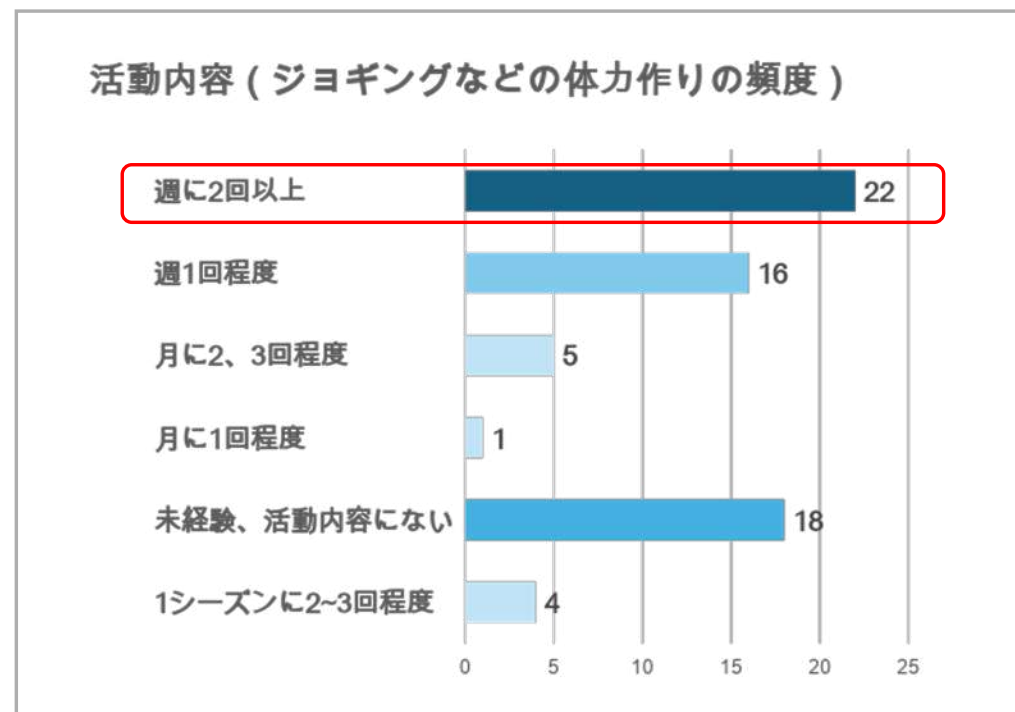
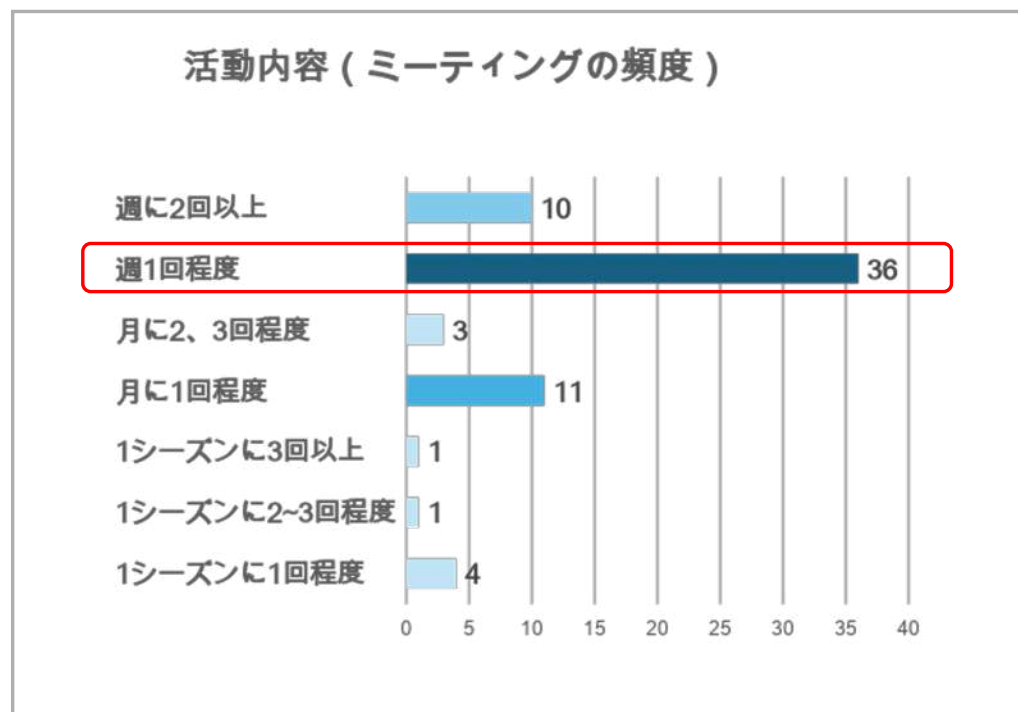
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態①



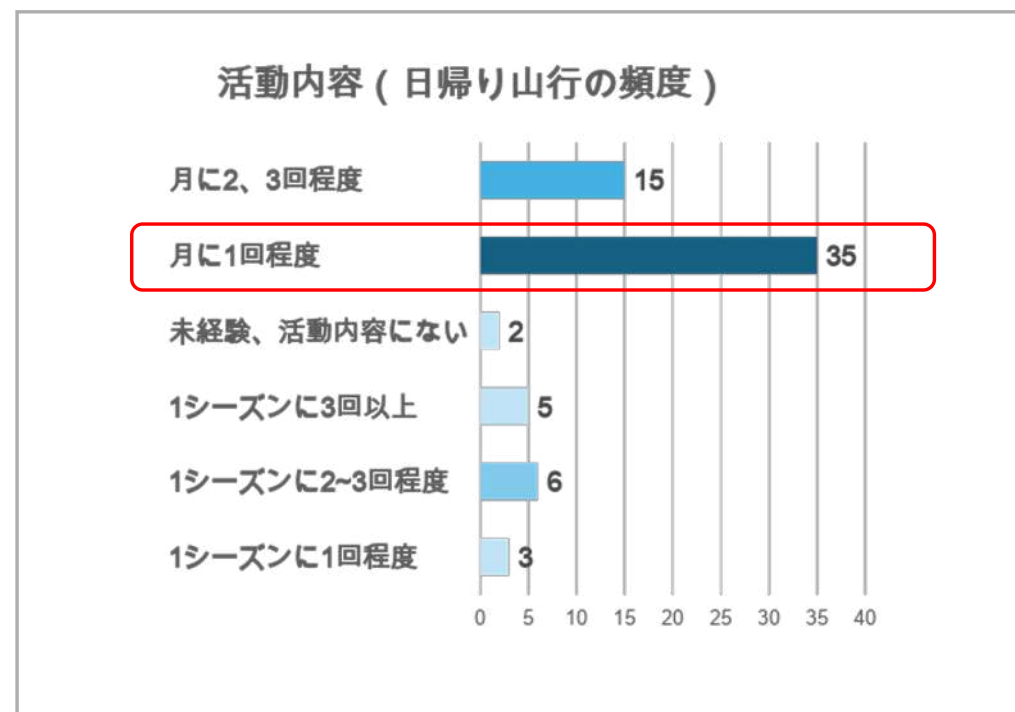
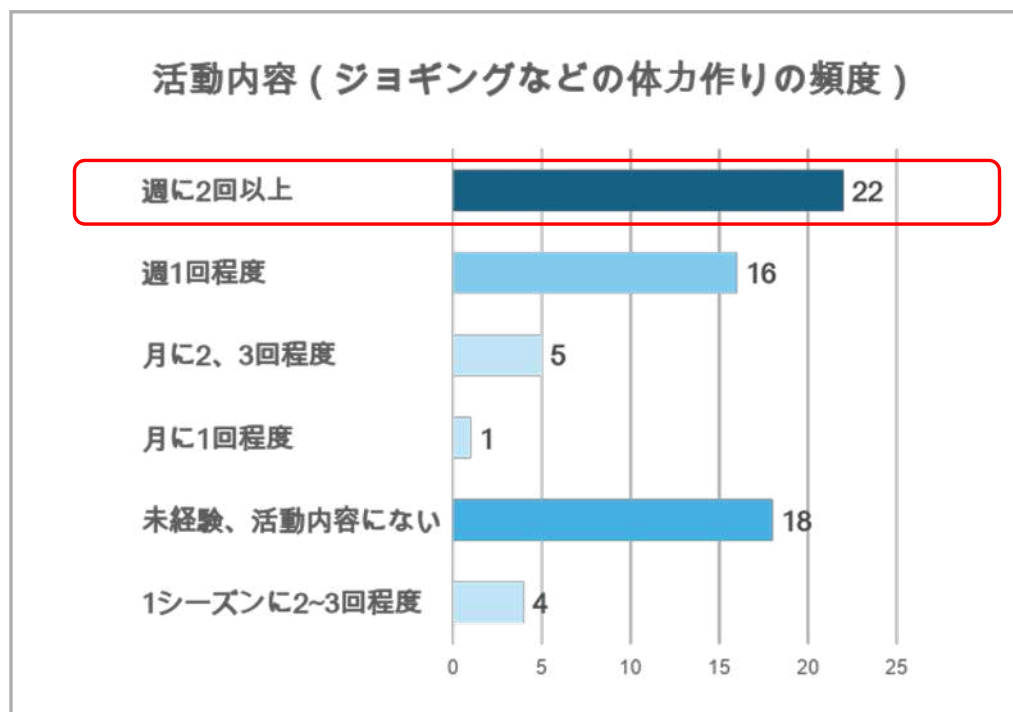
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態②



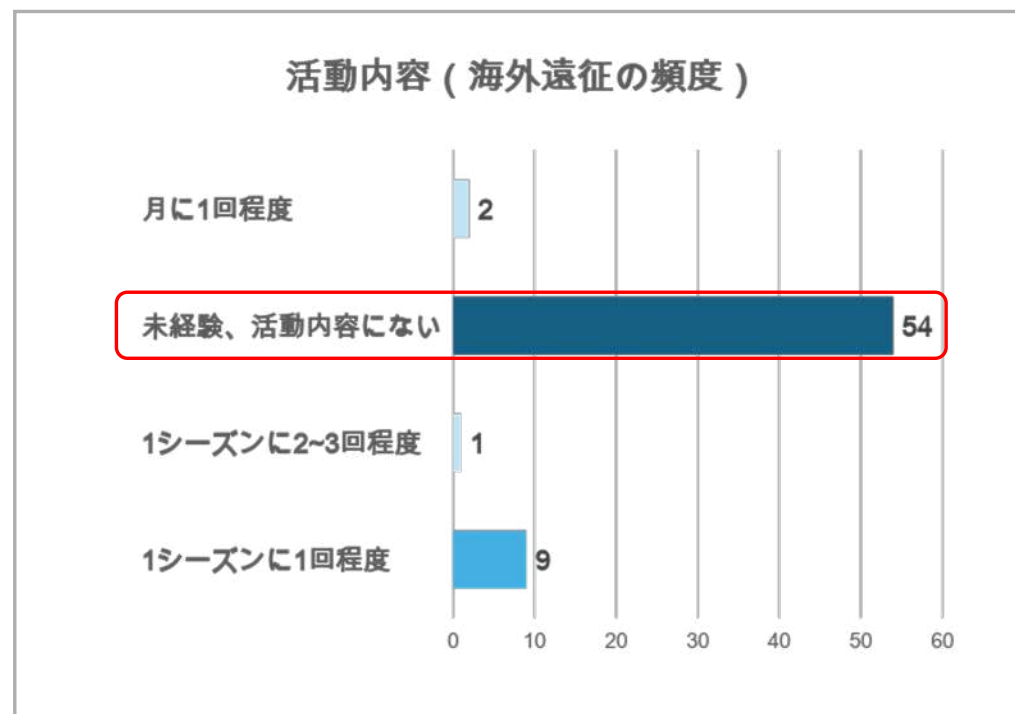
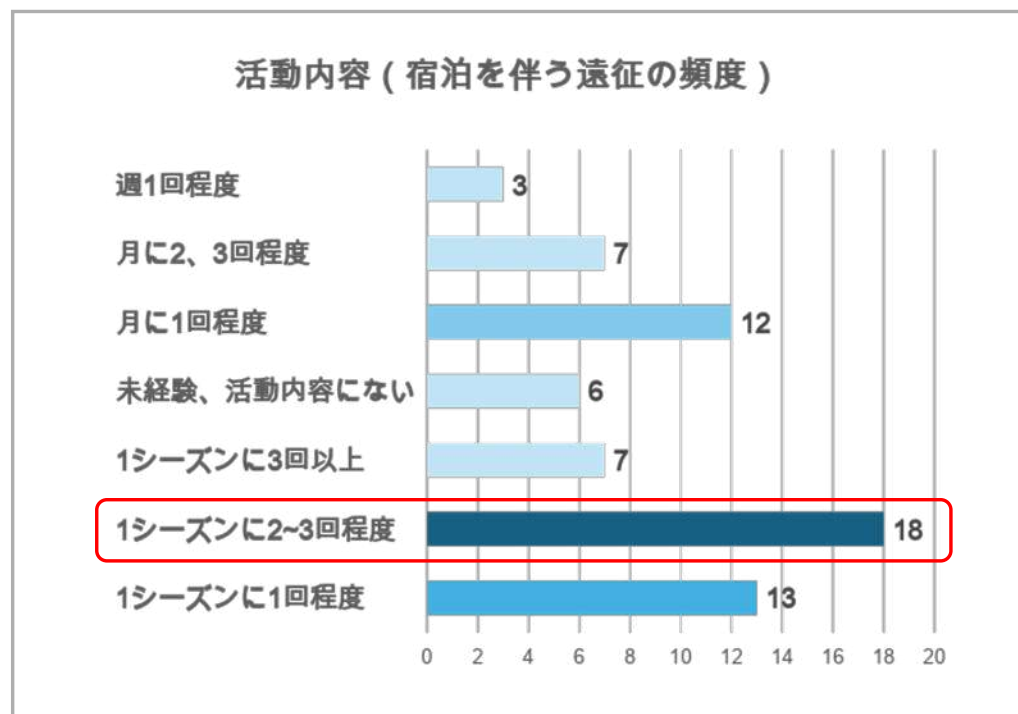
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態③



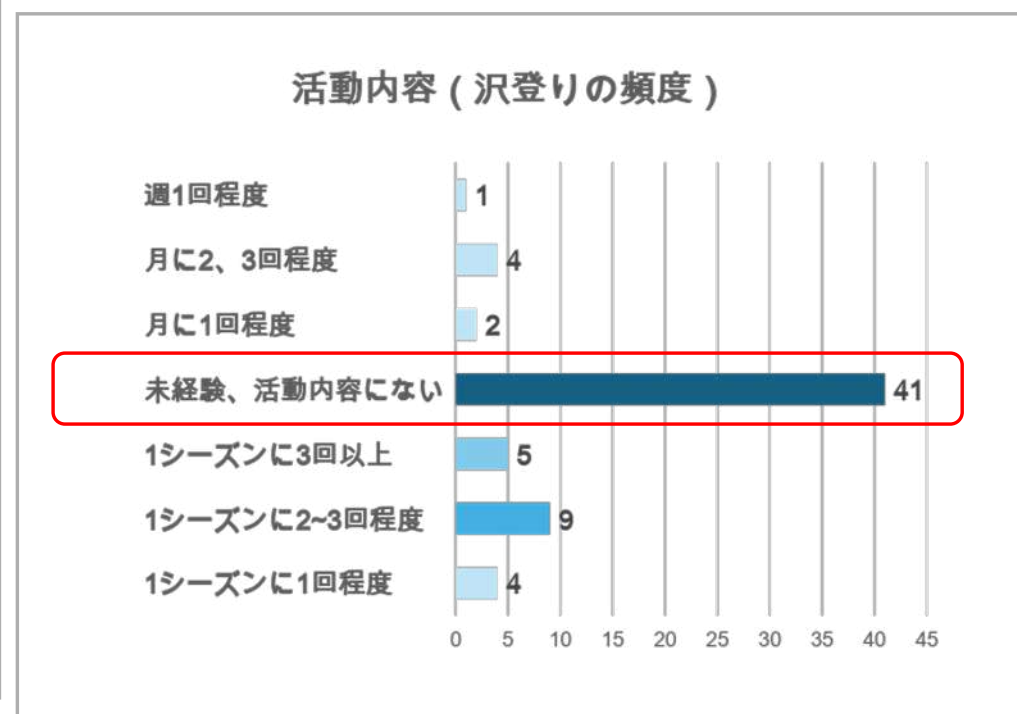
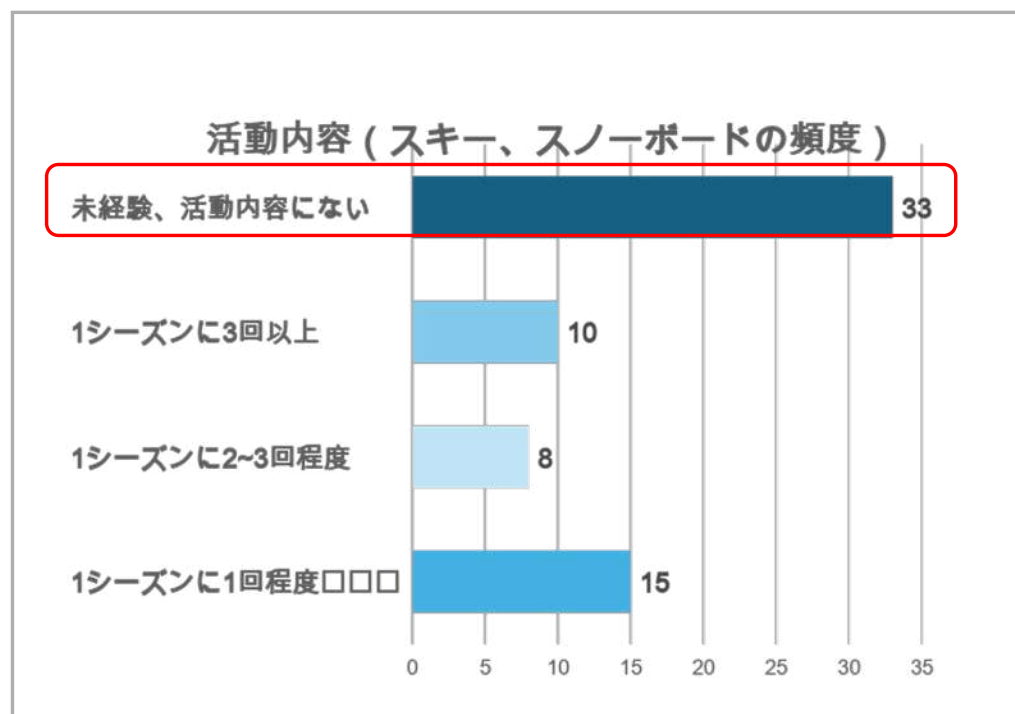
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態④



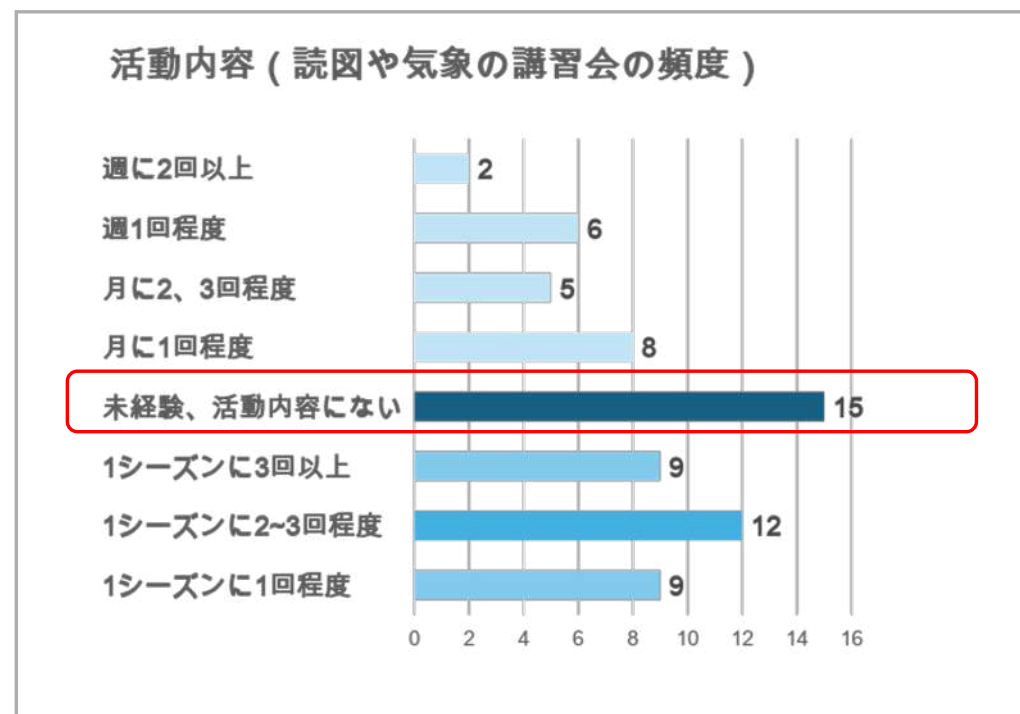
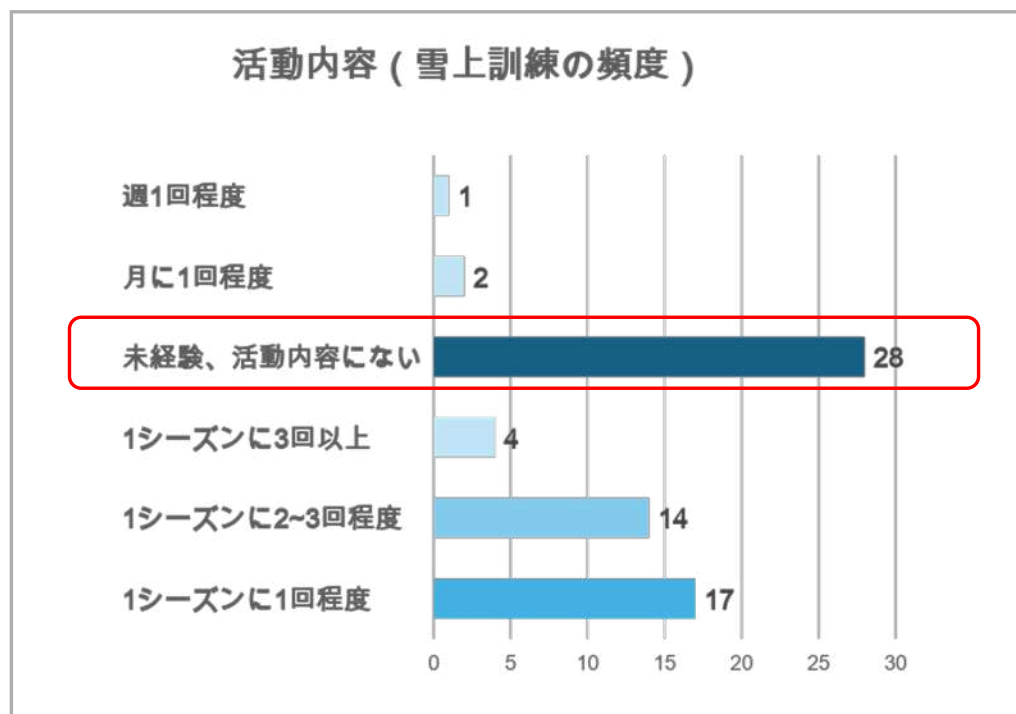
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態⑤



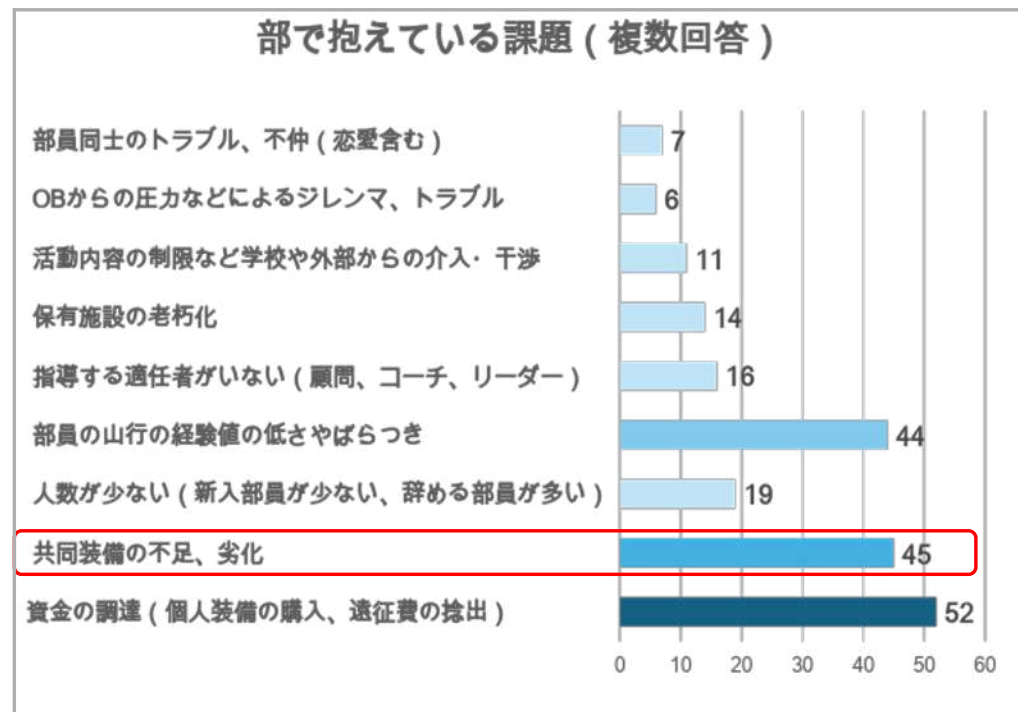
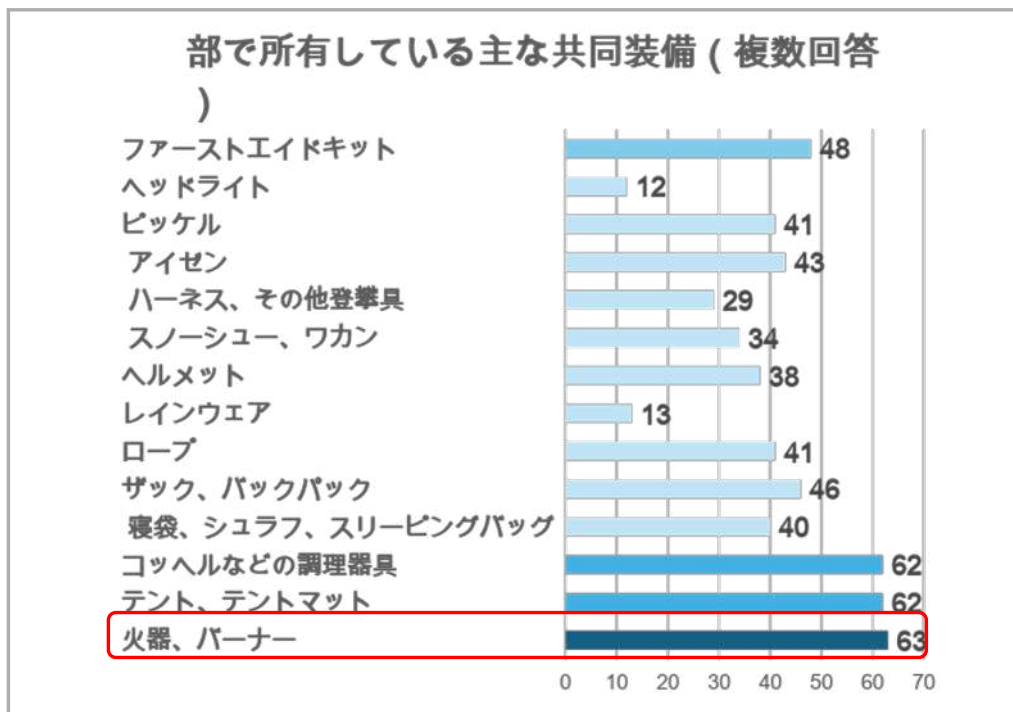
参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態⑥



参考資料：学生に向けた事前アンケート調査

実施： 2025年8月

回答人数： 支援対象校の学生 66人

目的： プロジェクトの支援目的を決定するための事前調査

回答者が所属している部・サークル・クラブでの活動内容の実態⑦

